

事務事業名	菅谷地区農地整備事業(農地中間管理機構関連)負担金	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画 体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	土地改良G	
	施策名	〈36〉農業の振興		担当者名	菅澤 直樹	
	目的	市内の農家	意	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農 業所得が向上する。	電話番号	0854-40-1053 (内線) 2402
	基本事業名	〈107〉農業基盤の整備		予算科目	会計 款 大事業: 大事業 0:1 3:0 0:2 業名 土地改良事業 項 目 中事業: 中事 経営体育成基盤整備事業 0:5 5:5 3:2 業名 負担金	
目的	担い手農家・担い手以外農家	意	農業の生産性を維持・向上できるようにする。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 29 年度 ~ 35 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
■事業名: 農地中間管理機構関連 農地整備事業
■地区名: 雲南市吉田町菅谷地内
■工 種: ほ場整備工事
■経 過
①H28...地形図作成
②H29...概略設計、法手続き 中間管理権設定(※事業同意)
③H30~H35 実施設計 区画整理工事、補完工事 埋蔵文化財調査 確定測量、換地処分
④H35...事業完了(予定)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動)	29年度実績(29年度に行った主な活動)		30年度計画(30年度に計画する主な活動)		
	■ 県及び関係機関、地元との協議・調整 ■ 負担金の支払 ○ 県単調査に係る負担金	■ 県及び関係機関、地元との協議・調整 ■ 負担金の支払 ○ 実施設計に係る負担金				
	② 活動指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	ア 協議回数	回			16	20
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	① 受益者 ② 受益面積	ア 受益面積	ha			25	25
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	
① 区画整理、用排水路、暗渠排水整備	ア 事業進捗率	%			0.0	0.0	
	イ 農地整備率	%			0	0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
■ 県単調査負担金/市負担50%	事業費内訳	国庫支出金	千円				
負担金実績: 550千円		県支出金	千円				
		地方債	千円			500	5,000
		その他	千円				
		一般財源	千円			50	
		事業費計(A)	千円			550	5,000
		正規職員従事人数	人			1	
	延べ業務時間	時間			600		
	人件費計(B)	千円			2,446		
	トータルコスト(A)+(B)	千円			2,996		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成29年度より農地中間管理機構と連携を図る事で、地元負担及び同意徴収無しで区画整理が行える事業が新設された。ただし、事業要件は以前に比べ、高収益作物への転換、担い手への集積、生産コストなど厳しいものとなっている。	新規事業の為、特になし。	地元負担が不要である事は、非常にメリットであるが事業要件の緩和が求められている。特に、生産コストに関しては、この中山間地域では平野部と異なる条件である為、公平性に欠けるとの意見もある。

事務事業名	菅谷地区農地整備事業(農地中間管理機構関連)負担金	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	---------------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 県営事業負担金である。 県、関係機関、地元との調整を図る事で、円滑に事業進行に寄与できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 県営事業負担金である為、類似事業はない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 県営事業負担金である為、削減余地はない。 採択申請段階から費用対効果を精査し、事業採択されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 県、関係機関、地元との調整が必要である為、削減や外部委託は出来ない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 県営土地改良事業については、事業完了後に地元負担相当額が促進費で返納される。この事業でも地元負担は不要である事から、公平である。 また、土地改良区への事業費割賦課金についても同様である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 県営事業負担金である為、直接業務に携わる事はない。 ただし、県・関係機関・地元との協議調整を行う事業である。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
県・関係機関・地元との連携を図り、継続的に円滑な事業推進に努める。																						